

平成 26 年度第 1 回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨

[日時]平成 26 年 4 月 7 日 (火) 19:05～21:50

[場所] 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

[参加者]12 名：足立源樹 (那覇市立病院)、垣花真紀子 (沖縄県立宮古病院)、笹良剛史 (南部病院)、伊藤昌徳 (株)メディオインスパランニング・ぼたん薬局)、増田昌人 (琉大病院)、代理：新屋洋平 (沖縄県立中部病院)、島袋恭子 (那覇市立病院)、尾崎信弘 (沖縄県立八重山病院)、親泊美香 (ちばなクリニック)、笠原大吾 (福寿薬局)、野村寛徳 (北部地区医師会病院)、栗山登至 (サマリヤ人病院)、

[欠席者]3 名：喜納美津男 (きなクリニック)、棚原陽子 (琉大病院)、大湾勤子 (国立病院機構沖縄病院)、福地 泉 (アドベンチストメディカルセンター)、

[陪席者]1 名：安里千恵美 (琉大病院)

<報告事項>

今回も Skyp を使用して会議を行った。

1. 平成 25 年度第 4 回緩和ケア部会議事要旨

伊藤委員より、資料 1 に基づき、「平成 25 年度第 4 回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会」の議事要旨が報告された。

2. 緩和ケアフォローアップ研修会について

笹良部会長より、資料 2 に基づき、緩和ケアフォローアップ研修会を実施した事が報告された。3 月 16 日 (日) に開催し、受講者は 25 名であった。概ね勉強になったという感想があった。次年度も開催予定である。

3. 拠点病院に対する現況調査について

増田委員より、資料 3 に基づき現況調査に関する報告があった。拠点病院の指定要件や活動内容については、2 年に 1 度厚労省の健康局長通知が出されるが、今回は 1 月 10 日に通知があり、要件に対して大改訂があり、特に緩和ケアについても大きな改訂があった事が説明された。

<協議事項>

1. 今年度の緩和ケア研修会開催について

浦添総合病院の新里誠一郎先生とハートライフ病院より薬剤師のおぜき先生が陪席し、今年度の緩和ケア研修会の開催について協議を行った。今年度は、拠点病院の他にハートライフ病院、浦添総合病院、豊見城中央病院の 6 施設で開催する事が決まり、琉大 7 月、ハートライフ 7 月末又は 8 月上旬、那覇市立 9 月予定。増田委員より開催日程は月を跨がずに開催してはどうかとの提案があり、4 月 18 日までに開催日程を決め事務局へ報告する事となった。受講人数についても、分かり次第事務局まで報告することとなった。

また拠点病院の新要件として、拠点病院に勤める卒後2年目から5年目の医師の受講が義務付けられた事を受け、各拠点病院は、自施設で今年度6年目・5年目を優先に受講してもらうよう取り組む事となった。民間病院は、自施設の先生とその他の連携先医師を優先し、調整しながら拠点病院の研修医の申込を調整する。

伊藤委員より、ファシリテータの協力について、受講人数が増える可能性があるので、各病院より出来るだけファシリテータの協力をする事が確認された。また指導者研修会を修了している先生の所属する施設へ協力依頼の文書を送付する事となった。

増田委員より、講師依頼について、なるべく同じ先生に依頼が集中しないように要望があった。

笹良部会長より豊見城中央病院でコメディカルの修了証を発行されていないことがわかり、県へ確認する事となった。

2. 今年度の部会長・副部会長及び部会委員について

今年度の部会長は笹良先生、副部会長に栗山先生と足立先生に決定した。

部会委員については、北部地区医師会病院・友利健彦先生の後任で野村寛徳先生が部会委員となった。ハートライフ病院の橋爪佳代氏が県外へ行くことになり部会委員を修了する事となった。

3. ロジックモデルの見直しと事業の優先順位について

伊藤委員より、資料6に基づきロジックモデルの説明があり見直しについて協議を行った。

笹良部会長より、目標の中に在宅医療のアウトカムが見えてこないという意見があった。これに対し、在宅関連の対策項目4【病病：病診連携の強化】について新たにアウトカム目標を設定する事となった。目標を立てる前に拠点病院と準拠点病院の委員は、平成25年度の退院時カンファレンス件数とそのうちのがん患者退院時カンファレンス件数を調べて事務局まで報告する事となった。

増田委員より事務局からのお願いとして、今年度の事業計画について主担当と副担当を決めて、5月までに大まかな年間計画を立てて欲しいと要望があった。また、各部会長からがん政策部会へ政策提言をしてほしいとの依頼があった。

4. 緩和ケア研修会修了者を、患者家族とその家族に対してわかりやすく情報提供する事について

増田委員より、拠点病院の新要件となった事について、琉大では、修了者名簿を病院正面玄関先に掲示することや、修了者に対してバッジを配布する事を進めている報告があった。